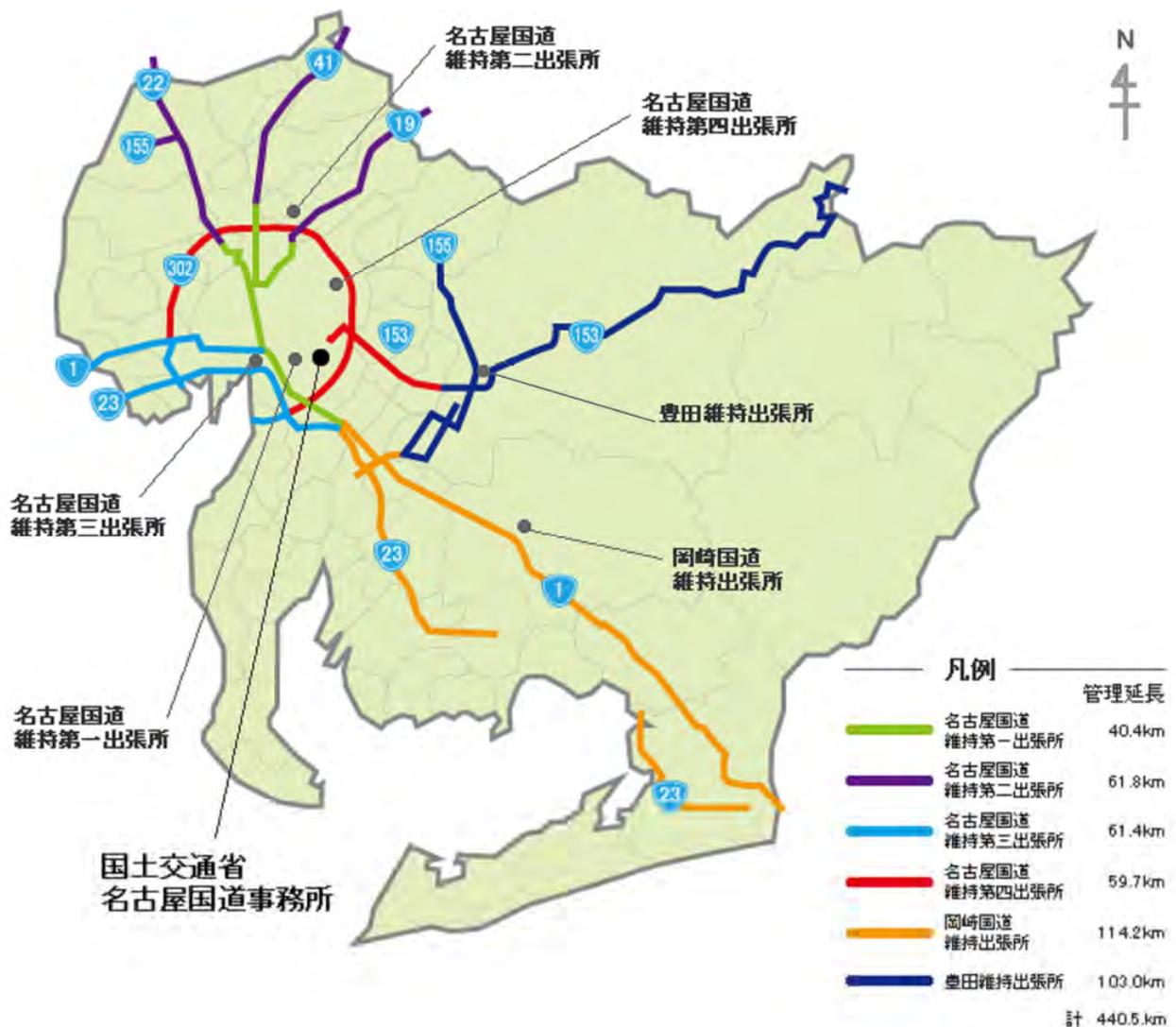


6. 出張所

- ①名古屋国道維持第一出張所 P61
- ②名古屋国道維持第二出張所 P62
- ③名古屋国道維持第三出張所 P63
- ④名古屋国道維持第四出張所 P64
- ⑤岡崎国道維持出張所 P65
- ⑥豊田維持出張所 P66



(平成 24 年 4 月現在)

① 名古屋国道維持第一出張所

《概要》

管理区間

40.4km

国道 1 号	刈谷市今川町矢戸 ～ 名古屋市熱田区神宮 2 丁目	14.4km
国道 19 号	名古屋市熱田区神宮 2 丁目 ～ 名古屋市守山区大字瀬古字中島	13.1km
国道 22 号	名古屋市中区丸の内 1 丁目 ～ 名古屋市西区枇杷島町小田井 2 丁目	5.6km
国道 41 号	名古屋市東区泉 2 丁目 ～ 豊山町豊場	7.3km

特 徴

中部地方の中心である名古屋市内の主要直轄4路線を管理しています。

交通量が非常に多く6～8車線の多車線区間が多くあります。

歩行者や自転車の通行が多いため、自転車通行空間の整備を進めています。

円滑な道路交通の確保を図るため、共同溝電線共同溝整備を進めています。

現在当出張所には、放置自転車に関する行政相談が大変多く、平成23年度の出張所撤去実績は約1000台であり、名古屋市、警察と協力して、放置自転車禁止区域(黒川駅、金山駅、伏見駅、浅間町駅、堀田駅、笠寺駅、伝馬町駅の周辺)の指定、放置自転車追放キャンペーンに参加して放置自転車対策をしています。

《最近のトピックス》

- ・平成 15 年度 国道 1 号熱田伝馬電線共同溝供用 3.321km
- ・平成 16 年度 国道 41 号大我麻交差点右折橋供用
- ・平成 19 年度 国道 41 号中切電線共同溝供用 0.92km
- ・平成 20 年度 国道 19 号伏見通自転車走行空間供用 若宮北～日銀前交差点 約 800m
- ・平成 20 年度 国道 1 号星崎電線共同溝供用 4.74km
- ・平成 23 年度 国道 19 号桜通自転車道供用 日銀交差点～桜通大津交差点 約 800m
- ・平成 24 年度 国道 22 号枇杷島電線共同溝供用 2.28km



国道 19 号 伏見通自転車走行空間



国道 19 号 桜通自転車道



国道 1 号 星崎電線共同溝

《取り組み》

当出張所は名古屋市内の主要 4 路線について管理業務及び維持修繕工事等を5名の職員で担当しています。

管理業務は、許認可業務の他、自転車等違法駐輪対策、共同溝監視業務、機械・電機保守点検業務等、地下地上を問わず多岐にわたって実施しています。

維持修繕工事等は、安全安心の確保を目的とした緊急輸送道路の耐震化の推進工事、円滑な道路交通の確保を目的とした交通安全対策工事、安全快適な道路環境の確保を目的とした電線共同溝工事を実施しています。

② 名古屋国道維持第二出張所

《概要》

管理区間

61.8km

国道 19 号	名古屋市守山区大字瀬古字中島 ~ 春日井市内津町	18.6km
国道 22 号	清須市西枇杷島町 ~ 一宮市北方	20.4km
国道 41 号	西春日井郡豊山町 ~ 犬山市善師野	20.5km
国道 155 号	一宮市富士三丁目 ~ 一宮市音羽一丁目	2.3km

特徴

名古屋市を起点に放射状に延びる国道 19 号・22 号・41 号の名古屋市境から岐阜県境までと、一宮市の中心部に位置する国道 155 号の全長 61.8km を管理しています。沿道環境は都市部から農業地域、山間部に及び、沿線住民からの要望も多岐に亘っています。国道 19 号・22 号・41 号は東名・名神高速道路、東海北陸自動車道、名古屋第二環状自動車道、名古屋高速道路（一宮線・小牧線）とのアクセスが良好であり、沿線には工場や運送会社などが多く、名古屋から岐阜方面の物流を担う路線であるため慢性的に混雑しています。

《最近のトピックス》

- ・平成 13 年 3 月 名古屋高速 11 号小牧線開通（楠JCT～小牧北IC）
- ・平成 15 年 3 月 国道 155 号一宮電線共同溝完成
- ・平成 16 年 3 月 国道 19 号内津薬剤倉庫新築
- ・平成 16 年 6 月 国道 41 号豊山電線共同溝完成
- ・平成 17 年 2 月 名古屋高速 16 号一宮線開通（清洲JCT～一宮中IC）
- ・平成 18 年 4 月 全国みどりの愛護のついでにご出席のため、皇太子殿下が国道 22 号を走行
- ・平成 19 年 3 月 国道 22 号清須市下之郷～一宮市浅野 名高速建設に伴う整備工事完了
- ・平成 19 年 3 月 第二出張所内車庫建て替え
- ・平成 19 年 12 月 名古屋高速 16 号一宮線が清洲 JCT で 6 号清須線に接続。
- ・平成 21 年 3 月 国道 19 号春日井共同溝完成
- ・平成 21 年 10 月 国道 19 号内津パーキングリニューアル
- ・平成 22 年 3 月 国道 19 号勝川電線共同溝完成
- ・平成 22 年 9 月 国道 22 号伝法寺歩道橋完成
- ・平成 23 年 9 月 台風 15 号により、19 号北山トンネル坑口の法面が崩落
- ・平成 24 年 2 月 国道 41 号花塚橋南交差点 右折レーンのセパレート化実施



国道 19 号 北山法面崩落



国道 22 号 伝法寺歩道橋



国道 41 号 花塚橋南交差点

③ 名古屋国道維持第三出張所

《概要》

管理区間

61.4km

国道 1 号	名古屋市熱田区中瀬町 ~ 三重県桑名市長島町東殿名	18.9km
国道 23 号	刈谷市今川町曾根 ~ 三重県桑名郡木曾岬町	29.1km
国道 302 号	名古屋市緑区大高町 ~ 東海市新宝町	4.9km
国道 302 号	海部郡飛島村木場町 ~ 名古屋市中川区富田町	8.5km

特徴

名古屋港を中心とした伊勢湾岸地域へのアクセス交通を担う国道 23 号をはじめとして、1 号、302 号の 3 路線を管理しています。特に国道 23 号の名古屋市緑区大高町地内では、平日昼間の 12 時間交通量が約 87,000 台であり、全国の一般道路で上位第 4 位(H22 道路交通センサスより)の重交通路線となっています。これら路線の機能を確保するため、舗装修繕工事や橋梁補強工事等をはじめとする維持修繕工事や交差点改良工事等の交通安全工事を進めています。



国道 23 号道路状況(名古屋市南区、港区)

《最近のトピックス》

- ・平成 16 年度 国道 23 号 北崎特車基地完成
- ・平成 16 年度 国道 1 号 かの里東交差点 暫定 2 車線立体化
- ・平成 21 年度 国道 302 号 西南部 4 車線化
- ・平成 22 年度 国道 1 号 三日月橋 4 車線化 完成
- ・平成 23 年度 国道 23 号 環境施設帯モデル地区(名古屋市港区内)概成

《取り組み》

当出張所は名古屋市南部の主要 3 路線について、管理業務及び維持修繕工事等を 4 人の職員で担当しています。管理業務は、許認可業務の他、自転車等違法駐輪対策、車両重量計保守業務等、多岐にわたる業務を実施しています。

維持修繕工事等は、安全安心の確保を目的とした緊急輸送道路の耐震化の推進工事、円滑な道路交通の確保を目的とした事故防止工事、国道 23 号の沿道では良好な居住環境の形成を目的とした環境施設帯工事を実施しています。



国道 23 号環境施設帯 整備状況
(名古屋市港区)

④ 名古屋国道維持第四出張所

《概要》

管理区間		59.7km
国道 153 号	名古屋市天白区植田西 ～ みよし市打越町	14.2km
国道 302 号	名古屋市中川区富田町 ～ 名古屋市緑区大高町	45.5km

特徴

名古屋市から豊田市中心部へと伸びる国道 153 号、名古屋市の外側を結ぶ国道 302 号の二つの路線を管理しています。当出張所が管理する国道 153 号と 302 号は道路緑化の整備が進んでおり、他出張所と比べ街路樹の数量が多いという特徴があります。

国道 153 号の天白区内にはカイヅカイブキなどが中央分離帯に、トウカエデやシデコブシなどが側道部に植えてあります。また日進市からみよし市にかけてはヒラドツツジ・シャリンバイ・ハクチョウゲなどが植栽帯に植えられています。

国道 302 号の西北部から北部ではアラカシ・シラカシ・クスノキなどの高木が中心に植栽帯を形成しています。北部から東部にかけては住宅地中心の地域環境に調和するように多種多様な中木・低木が側道部に植えられています。

街路樹維持工事で樹木の剪定や除草を実施することで、道路景観の向上・沿道環境の保全及び道路交通環境の改善に努めています。

《最近のトピックス》

○国道 153 号

- ・平成 18 年度 西加茂郡三好町大字打越～豊田市西新町の4車線化完成

○国道 302 号

- ・平成 11 年度 名鉄瀬戸線(名古屋市守山区喜多山)に暫定踏切が設置され、不通区間が解消して暫定 2 車線で供用
- ・平成 12 年度 名鉄津島線(海部郡甚目寺町大字甚目寺)に暫定踏切が設置され、不通区間が解消して暫定 2 車線で供用
- ・平成 22 年度 JR東海中央線勝川駅付近連続立体交差事業の鉄道高架が完成し暫定 2 車線で供用
名古屋天白区平針～緑区大高町の 10.1 kmを暫定 2 車線で供用(平成 23 年度に 4 車線供用)

国道 302 号は平成 23 年 3 月 20 日に東北部(春日井市勝川町)と東南部(名古屋市天白区平針～緑区大高町)が開通し、全線繋がりました。環状道路として、交通の分散化による渋滞解消や中部国際空港・名古屋港などの国際物流拠点とのアクセス強化が期待されます。また、名古屋市名東区～緑区に主要な南北交通軸が構築されたことになり、渋滞や住宅地へ進入する通過車両を減らす効果も期待されます。



国道 302 号 原一丁目交差点より南方を望む



国道 302 号 水主ヶ池交差点より北方を望む

⑤ 岡崎国道維持出張所

《概要》

管理区間

114.2km

国道 1 号	湖西市白須賀(県境) ~ 刈谷市今川町	60.6km
国道 23 号	豊橋市細谷町 ~ 豊橋市前芝町・西浜町	20.3km
国道 23 号	額田郡幸田町芦谷 ~ 刈谷市今川町	30.2km
国道 155 号	知立市上重原町・刈谷市恩田町 ~ 知立市山屋敷町	3.1km
道の駅	筆柿の里・幸田、にしお岡ノ山、デンパーク安城	—

特 徴

日夜暮らしを支える重要幹線である国道1号、国道23号、国道155号の3路線の三河地区(豊橋市、豊川市、岡崎市、安城市、知立市、刈谷市、額田郡幸田町、西尾市)の道路管理、維持修繕事業、交通安全対策事業を担当しています。近年大規模地震や集中豪雨により国民の生活に重大な事象が生じたときの緊急輸送路としての役割を果たせるように道路を保持、補強対策をしています。

国道23号においては現在も名四国道事務所によるバイパス建設が進められており、管理区間は今後も延伸予定です。また平成21年に生じた強風による豊川橋トレーラ横転事故を受け、今後豊川橋は強風時における通行規制が実施される予定となっています。

《最近のトピックス》

- ・平成14年 国道1号大平横断歩道橋完成
- ・平成14年 国道1号二川地区の横断歩道橋昇降設備設置
- ・平成14年 国道1号のんほいぱーく歩道橋完成
- ・平成19年 国道1号岡崎車両重量計測設備設置
- ・平成19年 国道23号豊橋東バイパス 七根IC~野依IC間 管理区間延伸
- ・平成20年 岡崎豪雨 市内冠水
- ・平成24年 国道23号豊橋東バイパス 細谷IC~七根IC間 管理区間延伸
- ・平成24年10月 名豊道路豊橋バイパス 前芝IC~豊川為当IC間 管理区間延伸
- ・平成24年12月 愛知県内国道1号初「道の駅藤川宿」開駅予定
- ・平成24年度 名豊道路豊橋東バイパス 東細谷IC~細谷IC間 管理区間延伸予定



国道1号 道の駅 藤川宿 平成24年7月現在状況



国道23号 豊橋東バイパス(細谷ICから上り方向)を臨む
平成24年8月現在状況



国道1号 のんほいぱーく歩道橋(豊橋市大岩町)

⑥ 豊田維持出張所

《概要》

管理区間

103.0km

国道 153 号	みよし市打越町山ノ神(みよし市・豊田市境) ~ 豊田市大野瀬町(愛知・長野県境)	63.4km
国道 155 号	知立市山屋敷町板張(知立市・豊田市境) ~ 瀬戸市東茨町	39.6km
道の駅	どんぐりの里いなぶ	—

(国道 153 号足助旧道、国道 153 号豊田北バイパス、国道 155 号豊田南バイパスの管理も含む)

特徴

豊田市街の都市部から愛知・長野県境の山間部までを管理しており、関連市町村は豊田市・瀬戸市です。名古屋国道事務所の防災対策必要箇所9割が集中し、出張所管内に雨量通行規制区間(足助東、稲武)を有しています。また、西三河山間部(最高標高 675m)まで管理しているため、冬期の雪氷対策も重要です。観光交通が多くなる香嵐渓(豊田市足助町)の紅葉シーズンには路上工事抑制をする一方、都市部では自動車関連工場が多く、ゴールデンウィークや夏季の工場休業時期に合わせて豊田市内の路上工事を実施するといった取り組みも行っています。

《最近のトピックス》

- ・平成 16 年 3 月 稲武雪寒基地完成
- ・平成 17 年 3 月 国道 153 号豊田北バイパス(豊田勘八 IC 関連)供用
- ・平成 19 年 3 月 豊田維持出張所新庁舎完成
- ・平成 20 年 3 月 国道 153 号足助バイパス(足助・観音山トンネル)供用
- ・平成 22 年 10 月 国道 153 号足助バイパス全線供用
- ・平成 23 年 7 月 稲武(4 年ぶり)・足助東(11 年ぶり) 雨量通行規制 (台風 6 号)
- ・平成 23 年 9 月 稲武 雨量通行規制(台風 15 号)

《平成24年度のトピックス》

- ・国道 153 号 豊田市陣中町 現道拡幅・電線共同溝事業を実施中
- ・国道 153 号 豊田市明川町 避讓車線設置工事を実施中
- ・国道 153 号 豊田市明川町～小田木町 伊勢神改良が新規事業化(平成 24 年度)
- ・国道 155 号 豊田市美山町(豊田南バイパス)～国道 153 号豊田市東新町(豊田西バイパス)を施工中<名四国道事務所> 合わせて、豊田市東新町において国道 153 号が立体化される予定<名四国道事務所>



国道 153 号 稲武雨量通行規制(平成 23 年 7 月)



国道 153 号 明川地区避讓車線設置工事



国道 153 号 陣中町 現道拡幅・電線共同溝事業